

9月24日(日)朝 ❤️ 『神聖を呼び覚ます日』 メール前文

「問題は、それをつくり出したのと同じレベルの考えでは解決できない。」
(Problems cannot be solved by the same level of thinking that created them.)
これはAINSHUTAINの有名な言葉です。

今日、我々が直面している種々の問題を抜本的に解決しようとするならば、そう考える私たち自身の意識を問題が生じたのと同じ次元に置いていては、到底解決には至りません。言い換えれば、この世の問題の根本解決手段はこの世のどこを探してもないのです。あるのはただ、右のものを左に移すだけのような、一時的変化をもたらす対症療法的な解決手段だけです。

そのことをしみじみと想い観ますと、私たちが志向している『神聖の視座の立ち位置に立ってすべてを俯瞰すること』や、『次元の奥行きを伴った同時多角的視野を自己のものとすること』の重要性に思い至ります。そして、「私たちが人類に先駆けて、本当に神聖を甦らせて生きる以外に、地球の未来を切り開く道はないのだ」という、勇気と決意を伴った無限なる力が心の奥底から湧き上がってまいります。

また、私たちは長い間「神様（守護霊・守護神）にお任せして生きる」という生き方を実行してきました。その過ごし方は、神聖復活の印がこの世に降りて以降は、『自らが神聖の存在として甦り、神々様と一緒にになって働く』という在り方に進化してまいりました。

21世紀も20年を過ぎた今では、神様といい、守護霊様・守護神様というも、私たちと遠く離れた天の彼方におわす別存在の神靈ではないのだということを、多くの方々が自覚するまでになりました。それは、神聖復活の印を組みつづける私たちが、実際に守護の神靈と一体になって生きていることの証左であります。

また今の私たちは、天地におわす諸神善靈や地球救済の神々天使群とも一つ心になって、地球世界完成のために、共に働かせていただいております。そのことを思いますと、昭和や平成の時代の祈り方とは隔世の感がいたします。

日曜日の朝は、私たちの意識がすでに次元上昇した4次元・5次元の意識に立って生きている事実を顧みて、太陽のようにいのちの光を発光していることを自覚しながら、次元の垣根を越えた神聖の光を放ってまいります。

9月24日(日)朝 ❤️ 『神聖を呼び覚ます日』 始めの話

皆さま、おはようございます。朝のズーム祈りの会を始めます。世界では今日(こんにち)に至っても、未(いま)だ貧困・飢餓・テロ・紛争・戦争・疫病などによる人類の苦しみが絶えません。

それと同時に、人類の想念・言動行為によって、自然破壊がますます進み、動物たちは食べ物を失い住処を奪われ、絶滅してゆく種もあれば、人里に現われ、防衛本能から人に危害を加える種もあります。そうしたなかにあって、空や大地は波動調整せざるを得ない現状もあります。

また私たち人類が、これからも過去の文明に頼りつづけてゆくならば、頼みの綱だった大地の資源はやがて底をつき、これまでのような便利な生活が出来なくなることは目に見えています。

そのような時代にあって、私たちはどうしたらよいのでしょうか？どうすれば次の世代に、未来を繋いでゆけるのでしょうか？今この瞬間に、私たちに出来ることはなんでしょうか？

「祈るしかないよね」「印を組もうよ」「私たちが神聖復活して、新しい生き方を示すのがいいんじゃないかな」など、いろいろなお考えが皆さまのお心に浮かんでいると思います。

私たちは今日に至るまで、すべての人類に神聖を見出し、それを当然視すべく、朝に昼に夜に、練習を積んできました。しかし、いつまで経ってもなかなか他人に神聖を見るのは難しく感じる、と思われる方も多いのではないでしょうか。

それは、本当に見るべきものを後回しにして、映り現われ、消え去ってゆく現象に焦点を合わせていたからであります。私たちが本当にじっくりと見つめて、消えてゆく姿にしてゆくべきものは、私たち自身の心の中にあります。

「世界の不調和は、人類ひとりひとりの心の中の不調和が映し出されて現われているのだから、まずは心の中を平和にしよう」と心を決めて、他人や世界に感じる様々な想いを自分に向か直して、そう感じた原因を自分の中に見てゆくことで、私たちは問題をつくり出す境涯を卒業してゆくことが出来ます。

動画による祈りの会で、「現われている出来事や人々の置かれている状況というものは、それがどんなものであれ、いいでも悪いでもないのだ」というお話がありましたが、問題視する原因の想いが成仏してゆきますと、私たちは物事を批判・非難・評価せず、ただ観ることが出来るようになります。

それこそが、「うつるもの おのずうつりて おのず消ゆ おのれは澄みて ただひそかなり」というお歌の真髄であります。2023年の今年、私たちは、このお歌の心境を自分のものにすることが出来るときがきました。

本日は、問題を抱える世界の様々な国や地域の人々に感じる想いを、自分に向か直しながら、神聖だけが真実であり、その他(ほか)は、過去が現われ消え去ってゆくのみである、と見て、真理の種まきをしてまいりますので、よろしくお願いいたします。

それでは時間になりましたので、三分半の統一CDを使って世界平和の祈りを日本語と英語で行ないます。そのときには、「見られるもの、被造物の視点」ではなく、「見るもの、創造者の視点」に意識を合わせてお祈りください。私が「はい、ありがとうございます」と申し上げましたら、目を開けてください。それでは始めます。